

4. 子ども支援学科

子ども支援学科では、保育士や幼稚園の教員養成を主な目的とし、子どもたちの育成指導に関わる基礎・専門知識や技能などを学修する。専門教育科目には、人間開発学部理念・目的を体現する学部コア科目、本学科における学修の基幹となる科目群である基幹科目、子育てに関する総合的な支援を行い、地域の子育てをリードする人材の育成を目的とする「子ども文化・環境」、「健康・発達」、「地域・福祉」の3つの展開科目を設けている。そして、教育科目内容の理解を深め実践力を養うための演習・実習には、3年次に「演習」があり、4年次の演習・卒業論文の作成指導によって学修の総仕上げを行う。また、教員免許・保育士資格取得を目指す学生にとっては「教育実習・保育実習」がある。その他、「人間開発」への取組をより幅広く豊かなものとするための多様な関連科目も履修することができる。

4-1. 学部コア科目

人間開発学部理念、目的を体現する中核的な教育科目群で、全ての学科に共通の必修科目として配置されている。学際的視点によって構築される「人間開発」という本学部の中心理念の基礎理論や「教職論」等の主要科目を学ぶとともに、「人間開発」の基盤をなす本学の建学の精神に基づき「日本の伝統文化」の理解を図る。

4-2. 基幹科目

子ども支援学科において基幹となる固有の教育科目群（選択必修）で、3つの展開科目類への橋渡しとなる性格を有している。保育士資格、幼稚園教諭免許状を取得するための科目、即ち、教育課程及び保育内容の指導法に関する科目、児童理解及び教育相談に関する科目、各教科の基礎となる概説科目等を配当している。

4-3. 展開科目

展開科目類を選択履修することによって、自己の個性と関心に合った得意分野を発見し、その専門性を高めることができる。また、特定の展開科目類に偏らない履修方法も可能である。

▼Ⅰ類「子ども文化・環境」

日本の伝統文化の大切さ・豊かさを子どもに伝えることができる、日本の伝統文化に根ざした幼児教育・保育の環境を構築し、その方法を「開発」することにより、子どもや地域とともに新たな生活文化を創造する幼児教育・保育の担い手の育成を目指す。この類は、「伝統文化と生活論Ⅰ」「伝統文化と生活論Ⅱ」や「子ども文化論」「子ども環境論」及び保育表現に関わる諸科目によって構成される。

▼Ⅱ類「健康・発達」

子どもの就学前から就学後に至る発達過程を見通し、子どもに生涯学習の基礎を養うという視点から、子どもの発達と学びを体系的に理解し、子どもの「今」を受容するカウンセリング・マインドを養う。さらには各々の子どもが生活環境の中で直面している諸課題を分析する。特に、特別な配慮を必要とする子どもたちも含めて、健康な発達を遂げることができるよう支援する幼児教育・保育の担い手の育成を目指す。この類は「発達臨床心理」「障害児の理解と指導」「要保護児・要支援児の保育」「重度・重複障害児の教育」「カウンセリング概論・演習」などの諸科目で構成される。

▼Ⅲ類「地域・福祉」

家庭や地域、社会における協働的子育て支援のあり方について多角的に学び、子育て支援のための環境作りに主体的に取り組むことのできる資質・能力の育成を目指す。ここでは、子育て支援に関わる現状と課題を学ぶ「子育て支援論」や子育て支援の基盤となる「社会福祉」などを導入として、子どもを対象とした福祉に関する「児童家庭福祉」「社会的養護」「社会的養護内容」、家庭と子育て支援に関する「家庭支援論」「家庭教育論」、地域との関連に特化した「地域教育社会学」、子ども子育て支援に関する全体像を学ぶ「子育て支援システム論」、支援の実践的な技術を身につける「相談援助」「保育相談支援」などの諸科目で構成される。

4-4. カリキュラムの構成と履修方法

子ども支援学科における専門教育科目の構成とその履修方法は、次のとおり。

科 目 区 分		卒 業 要 件	
専門教育科目	学 部 コ ア 科 目	3 科目 6 単位必修	
	基 幹 科 目	2 単位必修、34 単位選択必修	
	展 開 科 目	I 類	8 単位選択必修
		II 類	8 単位選択必修
		III 類	8 単位選択必修
	演 習 ・ 実 習		2 科目 6 単位必修
	関 連 科 目		
		合計 74 単位以上	

- 注 1) 卒業するためには、専門教育科目から 74 単位以上を修得しなければならない。なお、教育実習・保育実習に関する科目及び教育インターンシップは、要卒単位に含まれない。
- 注 2) 開講科目及び卒業要件の詳細は、P22・23 のカリキュラム表を参照のこと。
- 注 3) 卒業論文の詳細は、P24・25 を参照のこと。
- 注 4) 教育実習・保育実習は選択制。2 年次の履修登録時に、履修登録を行うこと。
- 注 5) 教職・資格課程の詳細は、第 5 章「教職課程」・第 6 章「資格課程」をそれぞれ参照のこと。

科目区分	授業科目	開講	単位	開講学年				備考
				1	2	3	4	
学部コア科目	人間開発基礎論 (人間力育成の人間学)	半期	2	○				6単位必修
	教職論	半期	2	○				
	日本の伝統文化	半期	2		○			
基幹科目	子ども支援論 (どの子にもうれしい保育)	半期	2	○				2単位必修
	生理学	半期	2	○				34単位選択必修
	こども生活基礎論	半期	2	○				
	教育の原理	半期	2	○				
	発達と学習	半期	2	○				
	保育の心理学	半期	2	○				
	保育原理	半期	2	○				
	幼児教育史 (保育・教育の歴史と思想)	半期	2				○	
	教育課程論	半期	2		○			
	教育と社会	半期	2				○	
	教育相談	半期	2				○	
	保育内容(健康)	半期	2		○			
	保育内容(人間関係)	半期	2				○	
	保育内容(環境)	半期	2		○			
	保育内容(言葉)	半期	2				○	
	保育内容(表現)	半期	2		○			
	保育内容総論	半期	2				○	
	音楽概説	半期	2		○			
	図工概説	半期	2		○			
	体育概説	半期	2		○			
	国語概説	半期	2				○	
	算数概説	半期	2				○	
	生活科概説	半期	2				○	
	ピアノ実技A	半期	1	○				
	ピアノ実技B	半期	1		○			
	保育方法論	半期	2		○			
	児童理解の理論および方法	半期	2		○			
	人間関係論	半期	2				○	
	教育の方法と技術	半期	2				○	
	子どもの保健IA(健康と発育)	半期	2	○				
	子どもの保健IB(疾病と保健)	半期	2	○				
	障害児保育I	半期	2		○			
	障害児保育II	半期	2		○			
	特別支援教育論	半期	2				○	
乳児保育I	半期	2		○				
乳児保育II	半期	2				○		
保育臨床相談	半期	2				○		
保育臨床相談演習	半期	2				○		
教育の統計	半期	2				○		
展開科目	子ども文化論	半期	2	○				8単位選択必修
	現代保育の課題と実践	半期	2		○			
	歌唱とリズム	半期	2		○			
	リトミック	半期	1		○			
	伝統文化と生活論I	半期	2				○	
	伝統文化と生活論II	半期	2				○	
	保育内容研究 (遊びと生活の理解と援助)	半期	2				○	
	保育内容研究 (環境の理解と援助)	半期	2				○	
	保育内容研究 (遊具と保育教材)	半期	2				○	
	保育表現技術(身体表現)	半期	2				○	
	保育表現技術(音楽表現)	半期	2				○	
	保育表現技術(造形表現)	半期	2				○	
	保育表現技術(言語表現)	半期	2				○	
	子ども環境論	半期	2		○			

次ページに続く

科目区分	授業科目	開講	単位	開講学年				備考	
				1	2	3	4		
展開科目	II類 (健康・発達)	カウンセリング概論	半期	2	○				8単位選択必修
		カウンセリング演習	半期	2		○			
		小児医療 → 発育期の健康と運動	半期	2			○		
		重度・重複障害児の教育	半期	2			○		
		子どもへの保健II	半期	2			○		
		発達臨床心理学	半期	2				○	
		人間形成の心理学	半期	2				○	
		子どもの食と栄養I	半期	2				○	
		子どもの食と栄養II	半期	2				○	
	障害児の理解と指導	半期	2				○	8単位選択必修	
	要保護児・要支援児の保育	半期	2				○		
	病児・病後児の保育	半期	2				○		
	子育て支援論	半期	2	○					
	社会福祉	半期	2		○				
	児童家庭福祉	半期	2		○				
	相談援助	半期	2		○				
	社会的養護	半期	2			○			
	社会的養護内容	半期	2			○			
	地域教育社会学	半期	2				○	6単位必修	
家庭教育社会学	半期	2				○			
家庭教育論	半期	2				○			
家庭教育論	半期	2				○			
子育て支援システム論	半期	2				○			
保育相談支援	半期	2				○			
演習	半期	2				○			
演習・卒業論文	通年	4				○			
教育インターシッブ	半期	2				○	自由科目(要卒業単位外)		
教職実践演習	半期	2				○			
教育実習I A(事前指導)	半期	1			○				
教育実習I B(事後指導)	半期	1			○				
教育実習II	半期	2				○			
教育実習III	半期	2				○			
保育実習指導I A	半期	2			○				
保育実習指導I B	半期	2				○			
保育実習I(保育所)	半期	2				○			
保育実習I(施設)	半期	2				○			
保育実習II(保育所)	半期	2				○			
保育実習指導II(事前指導)	半期	2				○			
保育実習指導II(事後指導)	半期	2				○			
保育実習III(施設)	半期	2				○			
保育実習指導III(事前指導)	半期	2				○			
保育実習指導III(事後指導)	半期	2				○			
関連科目	ボランティアと社会参加	半期	2	○					
	摂食のしくみと食育	半期	2			○			
	臨床教育学	半期	2			○			
	メンタルヘルス	半期	2			○			
	学校・学級経営論	半期	2			○			
	安全教育	半期	2			○			
	ジェンダーと社会教育	半期	2				○		
	人権教育論	半期	2				○		
	企業内教育I	半期	2				○		
企業内教育II	半期	2				○			

○で示す開講学年で履修することが望ましい。ただし、履修学年に制限がない限り、当該学年以降でも履修することができる。

注) 開講時期は年度により、変更される場合がある。